

診療所だより

繁殖は順調ですか？

繁殖成績を向上させるには分娩前後の管理を良くし(特に飼料給与の過不足に注意) 早めに良い発情が来るようにする、発情を見逃さないこと、適期に授精することです。

これらは分かっているても実現するのは難しいことです。二度三度授精しても受胎しないと授精料は高く付き、空胎期間は長くなり経営が悪化、飼う意欲もそがれます。このような場合二つの大きな原因があります。

授精できる 良い発情だったか？

第一は発情に原因がある場合です。陰部から透明な粘液が多量に出ていてもそれだけで良い発情とは限りません。卵巣に卵胞があるのは確かですが、その卵胞が授精後正常な経過(排卵黄体形成)をたらないと受胎しません。

適期に授精されていたか？

良い発情は粘液を出し他の牛に乗ったり乗られたりします。このとき卵巣には成熟した卵胞があり(卵胞から多量の発情ホルモンが分泌されている) 正常に排卵、黄体形成されると予測されます。このような発情であれば受胎の可能性は高いので授精できます。卵胞が成熟しているかどうかは粘液の量、直腸検査による触診だけでは判断できません。繋ぎ飼いでいつもその状態が判断できなければ、粘液を見つけたらまず他の牛に寄せてみて乗ったり乗られたりするかどうかを確認してから授精師に連絡すべきです。

第二はいくら良い発情でも適期に授精されない受胎しません。発情持続時間は個体差があり二十四時間あります、発情の

始まりは他の牛に乗るが乗られるのは嫌い逃げます、最盛期になると乗られても逃げず乗せて動きませんが、乗ったり乗られたりしなくなった頃が発情の終わりです、排卵は発情が終わって約十二時間後です、ですから発情の始まりから排卵まで三十六時間かかります。排卵された卵には五時間受精能力があります、時間が経つほど能力は低下します、排卵後二時間以内の卵と精子が受精すれば正常な受精卵になります。

一方子宮内に注入された精子には二十四時間受精能力がありますが時間が経つほど能力は低下します。いくら良い発情でも発情の始めに授精すると排卵までに二十四時間以上経ち精子の受精能力が低下して正常な受精卵にはなれず受胎しません。逆に発情が終わる排卵直前に授精すると精子の受精能力が十分(精子は子宮内で五時間経たないと受精能力がつかない) 以前に排卵してしまい、精子に受精能力がなくなった頃には精子の受精能力は低下しているため同様に正常な受精卵にはなれず受胎しません。正常な受精卵になるには発情のどの時期に授精すれば良いかですが、発情の終わり頃であれば受精能力の高い精子と卵子が受精して正常な受精卵になり受胎の可能性が高くなります。ただ発情の始まりと終わりを正確に見つけることは困難です、そこで発情の最盛期(他の牛に乗られても逃げない時期)を確認したらその数時間後くらいに授精適期になります。

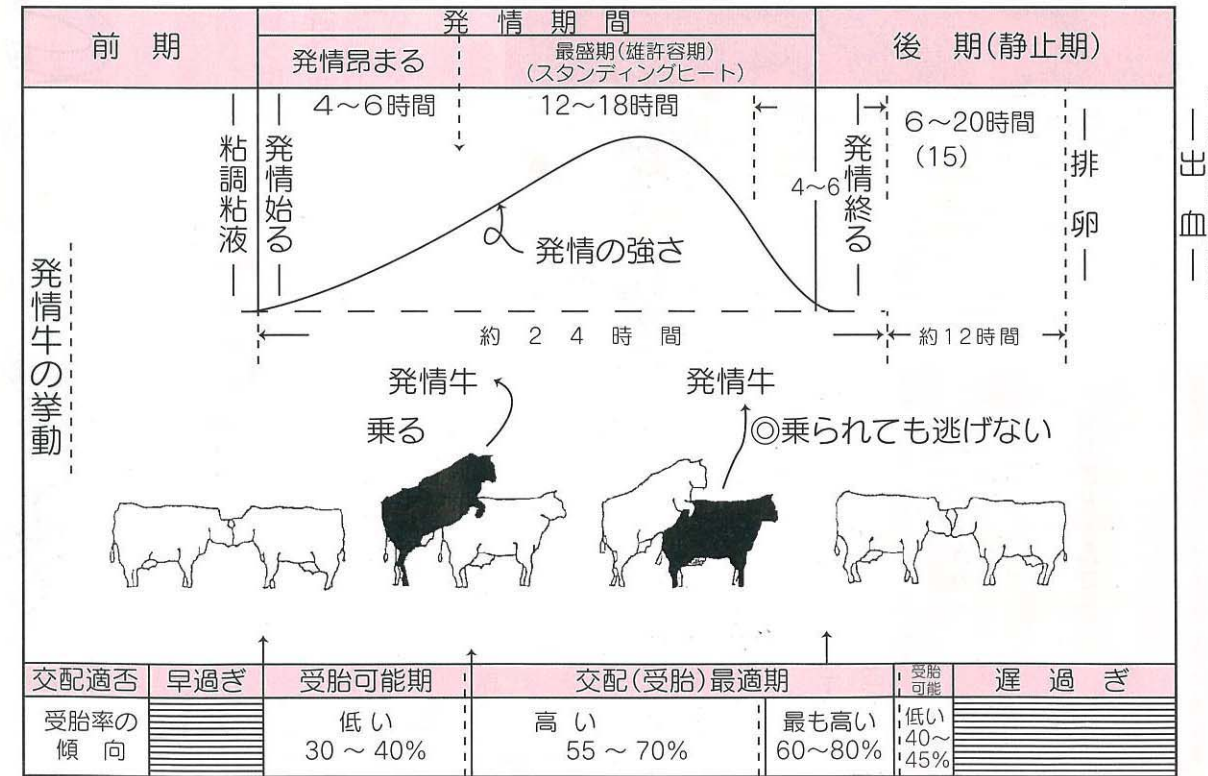
農業共済新聞
「愛読者プレゼント」
4月から「愛読者プレゼント」を実施

おかげさまで農業共済新聞は、今年で創刊58周年を迎えます。日頃のご愛顧にお応えするため、平成18年4月から「愛読者プレゼント」を実施します。

【応募方法】
農業共済新聞「みやざき版」にある「サイ君の応募券」を4枚1組にしてハガキに貼り、左記にご応募ください。2カ月に1回の抽選で、毎回5名様に県内の有名地場産品が当たります。

【あて先】
〒880-0077
宮崎市宮脇町1-18
NOSAI 連宮崎企画情報課

○発情行動と授精適期の関係



◆いかがですか？
農業共済新聞
営業と暮らしに役立つ情報紙
— 毎週水曜日発行 —
年間購読料は前払いで4,000円(税別)。
お申し込みは、NOSAI 北部総務課 ☎(0982)41-0200 まで。

お世話になりました
NOSAI に38年間勤務してまいりましたが、この度退職する事となりました。これまで務めることができたのも偏に皆様方のご支援とご厚情によるものと心より感謝いたしております。
今後の皆様のご活躍をご祈念申し上げ退任のごあいさつといたします。